

<平成25年度 登録保育士アンケート集計結果>

- 就業する際のポイントは、「勤務時間(シフト)」と「通勤の利便性」がそれぞれ約6割
- 約7割(72.0%)が、潜在保育士が就職するには「保育士の処遇改善」が必要と回答

福祉の人材サービスおよび育成を行う株式会社ニッソーネット(本社:大阪市北区、代表取締役社長:山下吾一)は、大阪市より平成25年度・26年度※と2期連続で、『大阪市保育士・保育所支援センター』の運営を受託しました。この事業は潜在保育士を大阪市内の民間認可保育所等への就業に繋げるもので、昨年度は5ヵ月間で109名の就業が実現しました。現在は、平成26年度の目標である250名の就業達成に向けて事業を推進中です。

この度、前年度の支援センターに登録いただいた保育士のアンケート集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。(詳細は次頁以降をご参照ください)

※ 受託期間:平成25年度(2013/10/30~2014/3/31)、平成26年度(2014/4/1~2015/3/31)

『大阪市保育士・保育所支援センター 平成25年度登録者アンケート集計結果』

【対象】 大阪市保育士・保育所支援センター 平成25年度登録者

【有効回答数】 93名 (発送数342名、回収率27.2%)、2014年8月アンケート実施

<アンケート結果のポイント>

■就業する際に重要視するポイントは、「勤務時間(シフト)」と「通勤の利便性」がそれぞれ約6割 (Q2)

保育士として就業する際に重要視するポイントとして、「勤務時間(シフト)」(61.3%)、「通勤の利便性」(59.1%)、「給与・賞与」(51.6%)が半数以上でした。特に「勤務時間(シフト)」と「通勤の利便性」は約6割となり、「働きやすさ・通いやすさ」を重要視していることがわかりました。一方で、「福利厚生」・「園の評判」(5.4%)、「契約期間」(2.2%)を選ぶ方は少なかったようです。[複数回答]

■約7割が、潜在保育士が就業するには「保育士の処遇改善」が必要と回答 (Q4)

潜在保育士が保育所で就業するためには、今後どのような取組みが必要かという質問に対し、「保育士の処遇の改善」が約7割(72.0%)でした。また、2位の「短時間でも働くことのできる仕組み」も半数以上(52.7%)となり、フルタイムではなくパートタイムで働きたい方が多いこともうかがえます。[複数回答]

■約6割が、各自治体に「支援センター」を設置すれば、保育士の人材不足が解消されると回答 (Q5)

大阪市だけでなく、各自治体に保育士の就職を支援する「支援センター」を設置すれば、全国的に保育士の人材不足が解消されると思うか聞いたところ、「解消される」(8.6%)と「やや解消される」(50.5%)を合わせ約6割(59.1%)が解消されると回答。[単数回答]

大阪市保育士・保育所支援センター 概要 (<https://www.nissonet.co.jp/osaka/>)

【問合せ】フリーコール 0120-977-655(平日:9時~20時、土日祝:9時~18時) ※大阪市内外在住の方も利用可能

【場所】<梅田センター> 大阪市北区芝田1-4-14 芝田町ビル2階

<阿倍野センター> 大阪市阿倍野区旭町1-1-17 住友生命川崎阿倍野ビル3階

【開所時間】9時~18時(年末年始、一部祝日を除く) ※平日は事前予約で20時まで対応

株式会社ニッソーネット 概要

【代表者】代表取締役社長 山下 吾一 [URL] <http://www.nissonet.co.jp/company/>

【設立】1999年9月 [資本金] 1,000万円 [売上高] 28.1億(2014年3月期)

【従業員数】112名(2014年4月現在) [事業内容] 人材サービス事業、教育・研修事業、施設運営事業

【本社所在地】大阪市北区芝田1-4-14 芝田町ビル2F TEL:06-6375-2111(代) FAX:06-6375-1717

【支社・営業所】南大阪支社、神戸支社、京都営業所、東京支社、横浜支社、さいたま支社、千葉支社、福岡支社

<本件・ご取材に関するお問合せ>

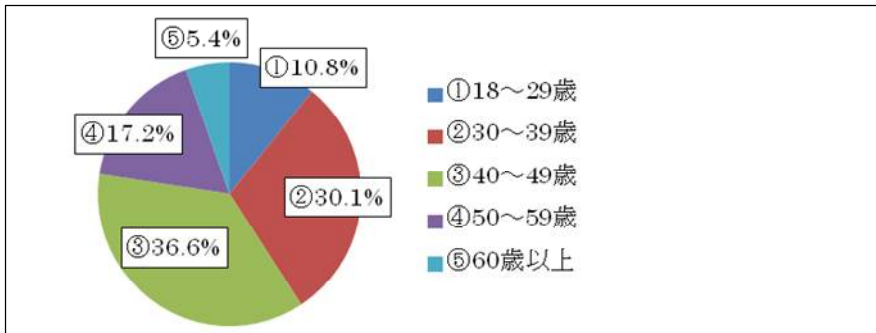
- ・株式会社ニッソーネット 広報担当 星田 TEL:0120-518-739 Email:hoshida@nissonet.co.jp
- ・(PR会社)株式会社アネティ 真壁 TEL:03-5475-3488 Email:makabe@anety.biz

※比率は%で表し、小数点以下第2位を四捨五入している為、単数回答においては、合計が100%にならない場合があります。

■属性

・年齢層 [n=93]

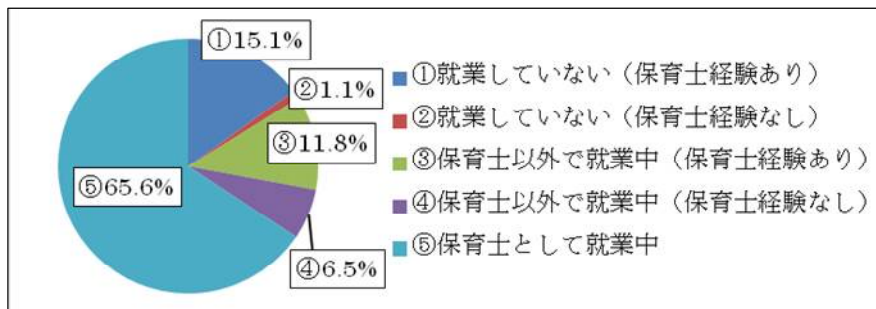
「40～49歳」が約4割(36.6%)と最も多く、次いで「30～39歳」(30.1%)、「50～59歳」(17.2%)でした。



・現在の状況 [n=93] (2014年8月現在)

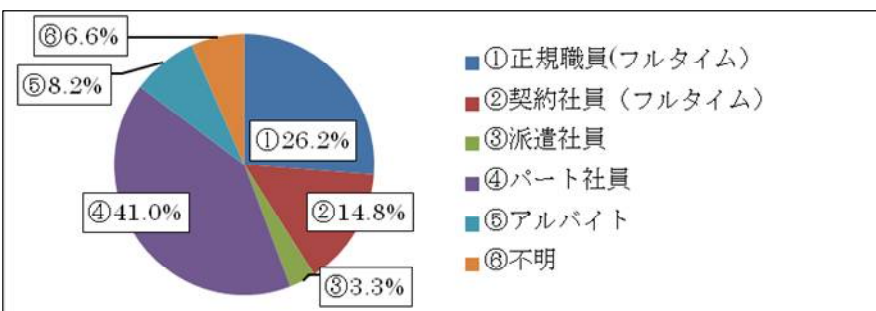
「保育士として就業中」*が6割以上(65.6%)と最も多い結果となりました。その一方で、34.5%(①～④の合計)が保育士として就業しておらず、潜在保育士のままであることもわかりました。

※就業中と回答した方の中には、支援センターを通じて就職した元潜在保育士を含みます。



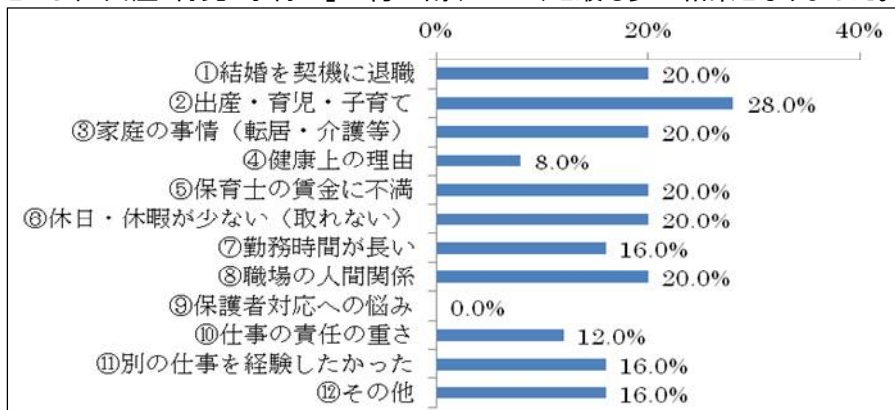
・保育士として就業中の雇用形態 [n=61]

現在の状況で「保育士として就業中」と回答した方に雇用形態を聞いたところ、「パート社員」が約4割(41.0%)と最も多く、次いで「正規職員(フルタイム)」(26.2%)、「契約社員(フルタイム)」(14.8%)でした。



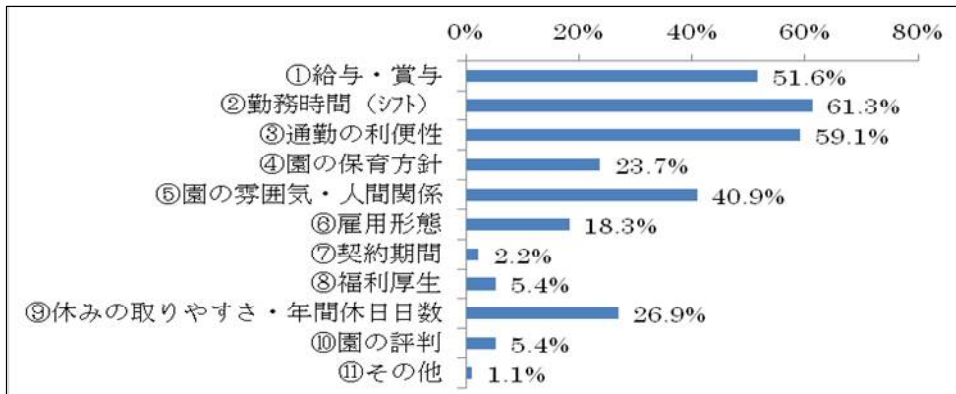
Q1. 潜在保育士になった理由は？ (「保育士の経験あり」のみ回答、複数回答可) [n=25]

保育士経験があり、現在就業していないまたは保育士以外で就業中の方に、潜在保育士になった理由を聞いたところ、「出産・育児・子育て」が約3割(28.0%)と最も多い結果となりました。



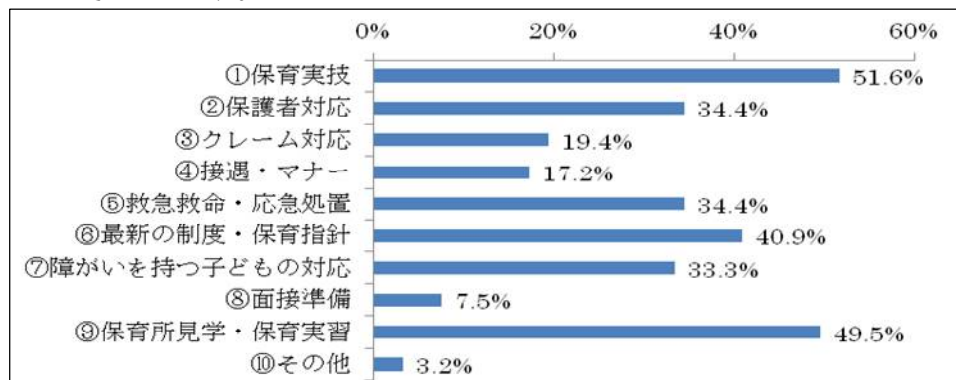
Q2. 保育士として就業する際に重要視するポイントは？(3つまで選択可) [n=93]

「勤務時間(シフト)」、「通勤の利便性」、「給与・賞与」が半数以上でした。特に「勤務時間(シフト)」と「通勤の利便性」は約 6 割となり、「働きやすさ・通いやすさ」を重要視していることがわかりました。一方で、「福利厚生」、「園の評判」(5.4%)、「契約期間」(2.2%)を選ぶ方は少なかったようです。



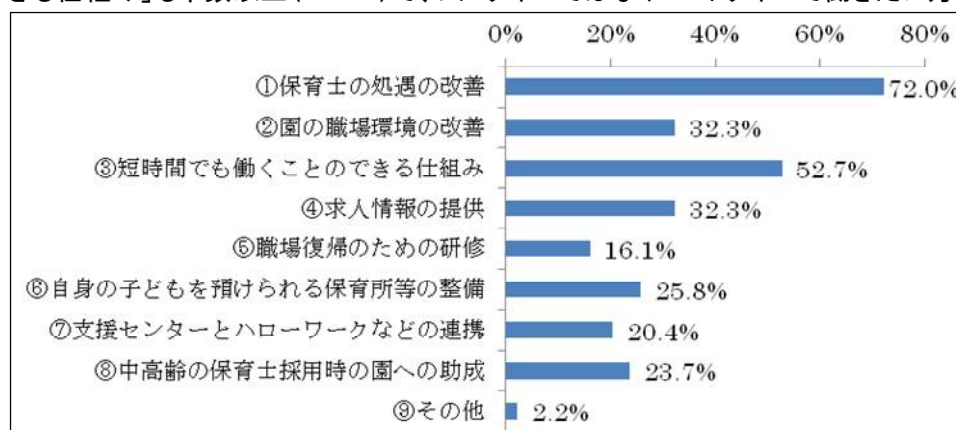
Q3. 保育士として初めて就業、または復職するにあたり、必要と思う研修は？(複数回答) [n=93]

「保育実技」(51.6%)と「保育所見学・保育実習」(49.5%)が約半数でした。特に空白のある方にとっては、一定の期間現場から離れていたことで保育に対して不安を感じる方も多く、このような研修が必要だと思う方が多いことが考えられます。



Q4. 潜在保育士が保育所で就業する為には、今後どのような取組みが必要だと思いますか？(複数回答) [n=93]

「保育士の処遇の改善」が約 7 割(72.0%)と最多で、2 位以下と差がつかしました。2 位の「短時間でも働くことのできる仕組み」も半数以上(52.7%)で、フルタイムではなくパートタイムで働きたい方が多いこともわかりました。



Q5. 大阪市だけでなく、各自治体に保育士の就職を支援する「支援センター」が設置されれば、全国的に保育士の人材不足が解消されると思いますか？ [n=93]

「解消される」(8.6%)と「やや解消される」(50.5%)を合わせると、約 6 割(59.1%)が解消されると回答しており、支援センター登録者の多くが、意義や存在価値を支援センターに対して感じていることがうかがえます。

